

## 徳島県地域公共交通計画（案）について

### 1 趣旨

令和元年12月に策定した「次世代地域公共交通ビジョン」が示す処方箋を着実に効果的・効率的に展開するため、「地域公共交通活性化再生法」に基づき、幹線系統バスに着目した「徳島県地域公共交通計画」を策定する。

2 策定主体 徳島県地域公共交通協議会（国、県、市町村、交通事業者等で構成）

3 計画期間 令和4年度～令和8年度

### 4 地域公共交通計画の内容（概要は別紙のとおり）

#### （1）基本方針

県内の様々な地域において、最適化された多様な移動手段が連携し、利便性向上と利用促進の好循環が生み出す、持続可能な公共交通ネットワークの実現

#### （2）目標・施策・事業

目標	施策	事業
公共交通の最適化	①モーダルミックスの推進	目標達成のための 23の事業
	②新たな運行形態の導入	
利便性の向上	③つなぐ仕組みの構築	
	④交通結節点の環境整備	
利用促進	⑤新たな需要の創出	
	⑥地域で支える意識の醸成	

#### （3）計画の推進 ～ 「3つの成果指標」と「13の進捗管理指標」～

成果指標	幹線系統バスの利用者数、収支、公的資金投入額
進捗管理指標	系統別バス利用者数、市町村を跨ぐ広域移動者数 など

⇒ 幹線系統バスの再構築をはじめとするモーダルミックスを推進

### 5 スケジュール

- ・令和4年3月～4月 パブリックコメントの実施
- ・令和4年4月～6月 地域別分科会、第5回地域公共交通協議会の開催
- ・令和4年7月 地域公共交通計画策定（予定）

# 徳島県地域公共交通計画（案）の体系

## 1.基本方針

県内の様々な地域において、最適化された多様な移動手段が連携し、利便性向上と利用促進の好循環が生み出す、持続可能な公共交通ネットワークの実現

## 2.目標

### (1)公共交通の最適化

- 各交通モードの特性を発揮できる適切な役割分担のもと、県内の様々な地域に、公共交通で移動が可能である。
- DMVや燃料電池バスなど、新たな交通資源が導入され、移動手段だけでなく観光資源としても活用されている。

### (2)利便性の向上

- 出発地から目的地まで乗り継ぎが発生する場合においても、複数モード間のダイヤ、運賃、情報提供、待ち環境等で連携が図られ、スムーズに移動できる。
- バスや鉄道等を待つ環境が、施設や地域等との連携を含めて整備され、交通結節点で利用者が快適に待ち時間を過ごすことができる。

### (3)利用促進

- 地域全体で支えていく意識の醸成などにより、公共交通の利用者数が、新型コロナウイルスの感染拡大前の状態まで回復している。
- 利便性向上に応じて、観光客による利用が、新型コロナウイルスの影響から回復している。

## 3.目標達成のための施策・事業

### 施策① モーダルミックスの推進

- 事業①-1：並行、重複路線の解消
- 事業①-2：駅等を中心とした乗り継ぎネットワークの構築
- 事業①-3：パターンダイヤの導入
- 事業①-4：地域内交通ネットワークの維持充実
- 事業①-5：新たな路線の開設

### 施策② 新たな運行形態の導入

- 事業②-1：コミバス・タクシーとの連携
- 事業②-2：スクールバス・福祉バスの活用
- 事業②-3：自家用有償旅客運送の活用
- 事業②-4：DMVの活用
- 事業②-5：新たな移動手段の確保

### 施策③ つなぐ仕組みの構築

- 事業③-1：シームレスに移動できる仕組みの構築
- 事業③-2：乗り継ぎに関する情報提供の充実
- 事業③-3：公共交通のオープンデータ化
- 事業③-4：IoT、AIによる新たなシステムの導入

### 施策④ 交通結節点の環境整備

- 事業④-1：利用者の“多様性”に配慮した環境整備
- 事業④-2：駐車場、駐輪場の整備

### 施策⑤ 新たな需要の創出

- 事業⑤-1：フリー乗車券の導入
- 事業⑤-2：インバウンド向け企画乗車券の発行
- 事業⑤-3：貨客混載の推進
- 事業⑤-4：新たな車両の導入

### 施策⑥ 地域で支える意識の醸成

- 事業⑥-1：利用啓発イベントの開催
- 事業⑥-2：マイレール・マイバス意識の醸成
- 事業⑥-3：地域公共交通計画策定の推進

## 4.進捗管理指標

(施策・事業に対する評価)

### モーダルミックスの成果やGXを可視化

指標1-1：幹線系統バスの利用者数  
(走行台キロあたり、系統別)

指標1-2：幹線系統バスによる  
広域移動者数

指標1-3：フィーダー系統の鉄道、  
幹線系統バスへの接続便数

指標1-4：乗り継ぎの平均待ち時間

指標1-5：新たな運行形態の導入件数

### 利便性向上に繋がるDXを推進

指標2-1：キャッシュレス決済の利用プロジェクト  
件数

指標2-2：情報提供におけるシステム実装率

指標2-3：交通結節点の整備実施箇所数

指標2-4：ノンステップバスの導入割合

### 市町村と連携し 利用促進

指標3-1：訪日外国人観光客向けフリー乗車券  
の販売枚数

指標3-2：企画乗車券等の販売枚数

指標3-3：公共交通利用促進イベント等の  
実施回数

指標3-4：地域公共交通計画策定市町村数

## 5.成果指標

(基本方針・目標に対する評価)

幹線系統バスの再構築を成果指標に設定し取組みを加速!

指標A  
幹線系統バスの利用者数  
(走行台キロあたり)  
(R3) 0.30人/km  
↓  
(R8目標値)  
0.40人/km以上

指標B  
幹線系統バスの事業収支  
(R3) 36%  
↓  
(R8目標値)  
53%以上

指標C  
幹線系統バスへの公的資金投入額  
(R3) 561百万円  
↓  
(R8目標値)  
409百万円以下